

第72回近畿実業団バドミントン選手権大会要項
(第74回全日本実業団バドミントン選手権大会近畿地区選考会)

1. 主催 近畿バドミントン協会、近畿実業団バドミントン連盟
2. 主管 大阪府実業団バドミントン連盟
3. 後援 讀賣新聞社
4. 期日 令和6年3月2日(土)～3日(日)
5. 会場 大阪府立臨海スポーツセンター
〒592-0006 大阪府高石市高師浜丁6-1
電話 072-268-8351
6. 種別 事業所対抗の男子団体戦、女子団体戦
7. チーム編成 監督1名、マネージャー1名、選手は4～12名で編成する。
8. 競技規則 令和5年度の(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程による。
9. 競技方法 (1) 一次リーグ戦の後、トーナメント戦により優勝を決定する。
男女とも3位決定戦は行わない。
(2) 試合は、2複3単とし、複より行う。
(3) 一次リーグ戦、トーナメント戦とも勝敗決定後打ち切りとする。
10. 使用器具 令和5年度(公財)日本バドミントン協会検定合格用器具を使用する。
11. 参加資格 大会申し込み日までに近畿実業団バドミントン連盟に団体登録を完了した事業所とし、近畿各府県実業団バドミントン連盟が、推奨するチームとする。選手は、(公財)日本バドミントン協会会員登録を完了した者。
12. 参加制限 (1) 各府県の基本割り当てチーム枠は、3チームとし、事業所が5増す毎に1チーム増とする。昨年度ベスト4以上のチームは推薦参加とし、上記割り当て外とする。また、開催府県の特別枠を認める。
(2) 1事業所1チームとする。
(3) 女子に限り、各府県1チームの選抜チームを認める。
(4) その他(外国籍選手の出場資格)
外国籍選手の登録数は、1チーム2名以内とし、試合への出場資格は1対抗戦に1名が単・複の何れか1試合にのみ出場可とする。ただし、次の何れかに該当するものについては、日本国籍を有する者と同じ出場資格とする。
(ア) 学生生徒は出場できない。ただし、官庁・会社等に雇用契約があり全日本学生バドミントン連盟、全国高体連専門部の会員登録がない者は出場できる。
(イ) 当該年度以前に学校教育法第1条に定める学校に一定期間在籍したことのある者。
(ウ) 日本国内で出生し、その後引き続き在住している者。
13. 参加料 (1) 1チーム 20,000円
(2) 参加料は、各府県の連盟代表者が一括して、2月23日(金)までに下記の口座へ振込んで下さい。
なお、組合せ後は主催者側の責任により事由以外は一切返却しない。
参加料振込先・・・三菱UFJ銀行 大阪営業部(005)
普通 3975616
名義 大阪府実業団バドミントン連盟

14. 申込期日 「大会参加申込書」に所定事項を記入の上、申込期限までに下記へ申込んで下さい

大阪府実業団バドミントン連盟 総務部 池端康平

TEL：080-3384-6113

Eメールアドレス osakajitsugyodanbadminton2020@gf7.so-net.ne.jp

令和6年1月5日(金) 17時必着 (期日厳守)

15. 組合会議 令和6年1月13日(土) 15:00～

近畿実業団バドミントン連盟理事会で実施する。

16. 表彰 男女団体とも上位3位までを入賞とし表彰する。

17. 競技日程 3月2日(土)

(1) 受付 9:00～(開場9:00)

(2) 監督会議 9:20～

(3) オーダー提出(1段目のチーム) 9:40までに

(4) 開会式 9:40～

(5) 競技開始 10:00～

3月3日(日)

(1) 受付 9:00～(開場9:00)

(2) オーダー提出(1段目のチーム) 9:40までに

(3) 競技開始 9:45

(4) 閉会式、競技終了後

18. その他

(1) 組合せは近畿実業団バドミントン連盟に一任とする。

(2) 審判は指名審判(相互)制とし、原則として公認審判員資格者(3級以上)とする。決勝戦の審判は、主管連盟が担当しサービスジャッジを付ける。

(3) 試合進行上、2コートに分けて実施することがある。なお、勝敗が決定次第、並行で実施している試合及び残りの試合は打切りとする。

(4) 競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程による。シャツの背面にはチーム名を表示すること。背面表示なき服装での試合は無効とする。競技中の色付き着衣については(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。チーム名以外の表示は大会運営規程第24条によるものとし、参加申込書で登録した表示以外のものは認めない。

ア ウェア(上衣)には(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による背番号を表示することが望ましい。

イ 文字の色：着衣と明瞭に区別出来るもの。

ウ 文字列の大きさ：(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。

(5) 大会中の疾病及び傷害は、主管連盟で応急のみするが、事故の責任は負わない。なお、スポーツ保険は加入済み。

(6) チームの最低構成員数(4名)に達しなかった場合は失格とする。

(7) 本大会上位4チームは、第74回全日本実業団バドミントン選手権大会の近畿ブロック選考チームとして推薦する。

